

みどりの杜俳句会



山晴れの空を仰ぎて年惜しむ	佐山けさ子
冬晴や庭にごぎ敷き藁仕事	飯野はつ志
通り道まばらに白き寒桜	高橋 ツ子
爪に柚子傷つけ冬至風呂香る	田村 好子
金柑の葉の間葉の間やまだ小粒	鈴木 啓子
杜の庭友とめぐりて年惜しむ	西 つる
葉のしなび瓢箪三つぶら下がる	梅沢きくえ
来る年や龍のぬり絵のカレンダー	本間 弘子
テレビより昔のドラマ夜の長し	吉田 愛子
歩行リハ杜の庭なる寒気かな	今村千鶴子
皮も身も柔らかか若木の蜜柑かな	小宮 勉
庭の万両実のかたまりて艶のあり	関口 侑子
舞茸天年越し蕎麦に添へにけり	野口利江子
沼土手に高く続くや泡立草	岡部富美子
鎌使ひかまきり軒にしがみつく	鯨井 和枝
葦沼に日射し綿虫舞ひ始む	土屋 厚子
初鷹や昼の月へと上昇す	初雁 功子
畦を来る花万燈や御講風	山田 美子



人権シリーズ

「自他ともに思いやる学校づくりを目指して」 (411)

学校生活において、社会的集団の一員として、人権について考える事は多くあります。

年間を通じて本校において人権について考え、よりよい学校をつくるために努めています。道徳の授業では、「相手を思いやる気持ち」「国際理解」といった人権について考える授業づくり、「性の多様性」についての職員研修、「バーニング」というゲームを用いて国際理解を深める学級活動をしました。また、生徒会役員より「男女とも選べる制服」の提案を受け、次年度に向けて新しい制服のデザインが決まりました。

学級担任として、「ありがとうという言葉が飛び交うクラス」をひとつの目標として経営を行っています。相手を尊重し、行動に対して、ありがとうということ。有難いという気持ちを持つことで、尊重の気持ちを養うきっかけになると考えます。また仲間から「ありがとう」と言われることで他者からの認知を実感し、自己肯定感の向上にも繋がります。自他ともに思いやる取組こそが人権教育の基礎となるのだと思います。

最後に、学校の教育者として大切にしていることは、「一人も見捨てない教育」を常に心に留め、教育活動に取り組んでいます。生徒が努力しているとき、何かを成し遂げようとしているとき、できるだけ見守ることができ距離に居られるように心がけています。生徒の行動を見守り、評価や助言ができるからです。今後、「自他ともに思いやる」学校づくりを意識していきたいです。

東秩父中学校教諭 五十嵐陸人

アートの世界

カナダの都市イエローナイフから車で約1時間ほどのランパート滝の上に輝くオーロラを撮影しました。昨年12月に北海道でもオーロラが観測されたように、太陽が活発な活動周期に入り、オーロラ爆発も期待できるので、今年と来年もオーロラ撮影にチャレンジしたいと思っています。

定年退職後、自由に使える時間で何か趣味をしようと思い写真を始めました。東秩父村の写真会や他の写真サークルに加入し、写真講座や各地への撮影ツアーにも参加するなど撮影技術向上に取り組んでいます。

「滝に輝くオーロラ」

撮影者 写真会

佐藤 裕一さん (御堂)

